

INFO-HIRO-21

第 474 号 2019 年 6 月 3 日
弘前大学総務部総務広報課

学内掲示板

イベントのお知らせ

青森家庭少年問題研究会2019年度第1回学習会「裁判員裁判における少年事件」

裁判員制度が始まって今年で10年になります。裁判員裁判では、少年が被告人となることもあります。青森県でも今年3月に初めての少年事件がありました。今回は、裁判員裁判の中でも少年事件にスポットを当てて、成人の事件と少年の事件とでどのような違いがあるのか、またどのような問題（課題）があるのかを、皆さんと一緒に学び、考えてみたいと思います。知識がなくても大丈夫ですので、興味のある方は是非参加してください。

1. 日 時 : 2019年6月29日(土) 15:00~17:00
2. 場 所 : 弘前大学教育学部校舎1階 大教室
3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも (参加無料)
※事前申し込みは不要です。
4. 内 容 :
15:00~16:30
講演「裁判員裁判における少年事件」
講師: 古玉 正紀 氏 (青森地方裁判所)
16:30~17:00
質疑応答・意見交換
5. 主 催 : 青森家庭少年問題研究会

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199
E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

青森家庭少年問題研究会
2019年度第1回学習会
裁判員裁判における
少年事件

参加無料・事前申し込み不要

裁判員制度が始まって今年で10年になります。裁判員裁判では、少年が被告人となることもあります。青森県でも今年3月に初めての少年事件がありました。今回は、裁判員裁判の中でも少年事件にスポットを当てて、成人の事件と少年の事件とでどのような違いがあるのか、またどのような問題(課題)があるのかを、皆さんと一緒に学び、考えてみたいと思います。知識がなくても大丈夫ですので、興味のある方は是非参加してください。

| | | |
|---------------|--|---|
| 日時 | 2019年6月29日(土) 15:00 - 17:00 | 講演 「裁判員裁判における少年事件」 講師: 古玉正紀氏 (青森地方裁判所) |
| 会場 | 弘前大学 教育学部校舎1階 大教室 | 16:30 - 17:00 質疑応答・意見交換 |
| お問い合わせ | 弘前大学人文社会科学部 平野 潔 Tel : 0172-39-3199 E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp | |

主催: 青森家庭少年問題研究会

「2019年度 看護教員・看護職のための放射線教育研修会」開催のお知らせ

本研修会は、平成28年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に3年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、看護教育に関わる教員もしくは医療機関において患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に関わる看護師の皆さまに放射線の知識・技術を深めていただくことを目的として開催するものです。

講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定などの演習を行い、放射線を身近に分りやすく理解できるようにしています。

【開催日】2019年7月6日(土) , 7日(日)

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科 (青森県弘前市本町66番地1)

【対 象】看護教育に関わる教育機関の先生方、看護職の方 (先着20名)
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【プログラム】1日目：13時00分～18時00分 (会場・受付開始/13:00)

- ≪講義≫①原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎
②放射線による健康影響とリスク
③放射線利用における看護職の役割

2日目：8時30分～13時00分

- ≪実習≫①自然放射線の理解
放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
②外部被ばくに対する防護方策
放射線防護の基本となる事項 (時間, 遮蔽, 距離)
③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策
撮影現場における線量の把握

注) 予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料 (別途：テキストの購入が必要となります。)

【使用テキスト】「看護と放射線 -放射線を正しく理解する-」

(日本アイソトープ刊行/定価1,800+税)

各自事前購入のうえ研修会当日にお持ちください。

※日本アイソトープ協会会員の方は協会から直接ご購入の場合、会員割引価格でご購入いただけます。詳しくは日本アイソトープ協会ホームページをご確認ください。

【申込方法】Eメールによる事前申し込みとなります。

下記特設ページの弘前開催申込みからお申し込み手続きを行ってください。

なお、募集定員に達し次第、申し込み受付を締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【看護教員・看護職のための放射線教育研修会】

https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/supportcenter_c.html

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

【協 賛】公益社団法人日本アイソトープ協会



2019年度
看護教員・看護職のための
放射線教育研修会

| | |
|--------|--|
| 日時 | 2019年7月6日(土) 13:00～18:00・7日(日) 8:30～13:00 |
| 会場 | 弘前大学大学院保健学研究科(青森県弘前市本町66番地1) |
| 対象 | 看護教育に関わる教育機関の先生方、看護職の方 |
| 定員 | 20名(先着順) |
| 受講料 | 放射線テキストの購入が必要(別途)※日本アイソトープ協会会員の方は協会から直接ご購入の場合、会員割引価格でご購入いただけます。詳しくは日本アイソトープ協会ホームページをご確認ください。 |
| 申込方法 | ※研修会当日にお持ちください。詳しくは日本アイソトープ協会ホームページをご確認ください。 |
| 主催 | 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター |
| 問い合わせ先 | 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター 〒030-8585 青森県弘前市本町66番地1 弘前大学 保健学研究科 放射線看護教育支援センター |

【その他】・本研修の修了者には、受講後に修了証をお渡しします。

・本研修会は、日本IVR学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース（INE）更新単位取得の対象として認定されています（5単位）。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 E-mail：hiro_rns@hirosaki-u.ac.jp

「令和元年度 被ばく医療研修」開催のお知らせ

大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修（旧名称・現職者研修）」の開催も今年で10回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。どうぞお気軽にご参加ください。



【募集コース】 看護職コース / 診療放射線技師コース

【開催期間】 令和元年8月31日（土）～9月1日（日）

【開催場所】 弘前大学大学院保健学研究科（弘前市本町66-1）

【対象者及び募集人数】 看護職者及び診療放射線技師 合わせて15名

【プログラム】 詳細は事業ウェブサイトに掲載されているプログラムをご覧ください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクト ホームページ

(URL) <https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

【受講料】 無料

【申込方法】 Eメールによる事前申し込みとなります。

上述サイトの特設ページからお申し込み手続きを行ってください。

【締め切り】 令和元年7月15日（月・祝） ※先着優先・定員に達し次第締め切り

【その他】

- ・その他、詳細についてはホームページをご覧ください。
- ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。

◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

e-mail：hh_hh@hirosaki-u.ac.jp

Tel：0172-39-5518

Fax：0172-39-5912

令和元年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル ～これが“わたし”～」開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に令和元年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル ～これが“わたし”～」を開催いたします。

がん患者やその家族の視点に立った情報提供を推進するとともに、がんになってもそれと共生できる社会の構築を目指し、正しいがんの情報を提供いたします。

1. 日 時 : 令和元年8月18日(日) 12:00～16:00
2. 場 所 : 土手町コミュニティパーク多目的ホールA/B ポム広場
〒036-8182 青森県弘前市土手町31番地
3. 内 容 : プチセミナー
がんとこころ・食欲がない時の食事の工夫・在宅療養を支える訪問
看護ステーションの紹介・治療にかかるお金のはなしほか
アトラクション
弾き語りほか
ブース
各患者団体・企業・医療相談
体験
白衣体験・乳がんモデル・人体模型・超音波機器
4. 対 象 : 一般市民
5. 入 場 料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL: 0172-39-5174 (直通)

弘前大学資料館第22回企画展について(再掲)

弘前大学資料館では第22回企画展「“装う”アフリカ ―世界と交錯のなかで―」を6月1日より7月20日まで開催いたします。

アフリカの人たちのオシャレやアートは、世界との交錯のなかで、自由に花開いてきました。古代から交易・交流をとおしたヨーロッパやイスラム世界とのつながりが、また近年では急速にすすむグローバル化の影響が、装いの端々に現れています。他地域のモノや流行を取り込みながら、自在にかつ創造的に生み出される装いは、「閉じている」「伝統に固執している」イメージとはかけ離れています。

この展示では、そんなアフリカの生活や文化の魅力を紹介します。みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第22回企画展

「“装う”アフリカ ―世界と交錯のなかで―」

会 期 : 2019年6月1日(土)～2019年7月20日(土)
(日・祝・休日は休館)

時 間 : 10:00～16:00



場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

附属図書館データベース講習会「法律情報の探し方講座」開催のお知らせ（再掲）

附属図書館が整備導入している各種データベースの講習会を開催します。講師はいずれも外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容となっております。この機会に是非ご参加ください。

対象者：本学の学生及び教職員（事前申込不要）※実際にPCを操作しながら学べます

| データベース名 | 講 師 | 日 時 | 実施会場 |
|--------------------------------|---------------------------|------------------------|--------------------|
| Westlaw Japan (日本の法律データベース) | (株)ウェストロー・ジャパン 上田 茂斉 氏 | 6月4日(火) 14:20～15:50 | 総合教育棟2F 情報処理演習室 |



問い合わせ先：附属図書館資料管理グループ雑誌情報担当
Tel (内)3157
E-mail jm3157@hirosaki-u.ac.jp

**「日本放射線腫瘍学会 第57回生物部会学術大会・第48回放射線による制癌シンポジウム」
開催のお知らせ（再掲）**

日本放射線腫瘍学会生物部会は、「放射線腫瘍学に係る生物学研究の連絡と提携、および促進並び教育支援をはかり、もって学術の発展に寄与する」ことを主な目的として昭和48年に設立されました。この度、大会のメインテーマを「放射線腫瘍学研究の未来を目指した今」とし、日本放射線腫瘍学会第57回生物部会学術大会ならびに第48回放射線による制癌シンポジウムを令和元年6月7日(金)と8日(土)の日程で、青森県弘前市にて開催致します。

- 日時：第57回生物部会学術大会
令和元年6月7日(金) 9:15～17:30
第48回放射線による制癌シンポジウム
令和元年6月8日(土) 8:55～16:00

※両日とも受付は8:00 から開始いたします。



弘前大学大学院保健学研究科
〒030-8584 青森県弘前市本町6-1
TEL: 0172-39-5964 / 0172-39-5938
radbio2019, hirasaki@hirosaki-u.ac.jp

2. 会場：アートホテル弘前シティ 3F アメジスト（〒036-8004 青森県弘前市大町1-1-2）

3. 参加費等： 学会参加費：JASTRO 会員 6,000 円 / 非会員 8,000 円
情報交換会参加費：JASTRO 会員 4,000 円 / 非会員 6,000 円

※学生は会員・非会員問わず、学会参加費6,000 円、情報交換会費4,000 円です。
※当日受付にて現金でお支払いください。（1 日のみの参加でも同額となります。）

4. プログラム

■第57回生物部会学術大会：令和元年6月7日（金）9:15～17:30

9:15 - 9:20 開会の辞 大会長：柏倉 幾郎（弘前大学大学院保健学研究所）

9:20 - 11:00 一般演題1, 2

11:10 - 12:10 特別講演（教育講演）

「がん診断マーカー最前線」 落谷 孝広（東京医科大学医学総合研究所）

13:40 - 17:15 一般演題3～6

17:15 - 17:25 生物部会賞・生物部会奨励賞 授与式

17:25 - 17:30 閉会の辞

18:00 - 情報交換会

■第48 回放射線による制癌シンポジウム：令和元年6月8日（土）8:55～16:00

8:55 - 9:00 開会の辞 当番世話人：柏倉 幾郎（弘前大学大学院保健学研究所）

9:00 - 10:30 シンポジウム1 期待される先端物理がん治療

「放射線治療と腫瘍免疫の賦活によるロコ・システム融合がん治療法」

坪井 康次（社会医療法人若竹会つくばセントラル病院腫瘍センター）

「超偏極MRI（DNP-MRI）による癌の酸化還元代謝に基づく早期診断・治療効果判別法の開発と応用」

兵藤 文紀（岐阜大学医学系研究科放射線医学部分野先端画像開発講座）

「キャビテーション気泡と薬剤を援用した集束超音波治療」

吉澤 晋（東北大学大学院工学研究科通信工学専攻波動工学講座）

10:40 - 11:40 シンポジウム2 特別セミナー

「整形外科医における職業被ばく解明への細胞遺伝学的アプローチ」

三浦 富智（弘前大学大学院保健学研究所生体検査科学領域）

「Nrf2 とATF4 経路のクロストークによる酸化ストレス防御機構」

伊東 健（弘前大学大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター）

11:50 - 12:50 ランチョンセミナー

「放射線治療に大切な生物学 二刀流という視点からの考察」

三浦 雅彦（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔放射線腫瘍学分野）

13:00 - 14:00 シンポジウム3 光子線治療・粒子線治療の現在と未来

「光子線治療・粒子線治療の現在と未来」光子線治療について

稲葉 浩二（国立がん研究センター中央病院放射線治療科）

「陽子線治療の現在・これから」

清水 伸一（北海道大学大学院医学研究院放射線医理工学教室）

「光子線治療・粒子線治療の現在と未来」重粒子線治療

小藤 昌志（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構QST 病院）

14:05 - 15:55 シンポジウム4 BNCT - 基礎から臨床展開への道筋を辿る -

「BNCT 研究の歴史と到達点：Overview」

- 小野 公二（大阪医科大学関西BNCT 共同医療センター）
 「BNCT の生物学-臨床への橋渡し」
 福田 寛（東北医科薬科大学放射線医学教室）
 「ホウ素薬剤の不均一分布を考慮したBNCT 生物効果予測モデル」
 佐藤 達彦（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究部門）
 「病院に併設された加速器BNCT はどこまで治療開発が進んだか？」
 南東北BNCT 研究センターの現状」
 高井 良尋（脳神経疾患研究所附属南東北BNCT 研究センター）

15:55 - 16:00 閉会の辞

5. 参加申込：下記大会サイトより事前登録をお願いいたします。＊当日参加も可
<https://radbio2019.com/>

問い合わせ先：日本放射線腫瘍学会

第57回生物部会学術大会 第48回放射線による制癌シンポジウム開催事務局
 弘前大学大学院保健学研究科内 柏倉，辻口
 電話：0172-39-5938, 5964 E-mail：radbio2019_hirosaki@hirosaki-u.ac.jp

平成31年度弘前大学大学院人文社会科学部研究科 市民カレッジ受講生募集のお知らせ（再掲）

- ・受講資格 4年制大学を卒業した方
- ・受講料 1科目あたり11,500円
- ・青森教室の開講科目及び日時

| | 授業テーマ（科目名） | 担当者 | 開講時間 | 申込締切日 |
|------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------|
| 後期 | 地域の経済と政策について考える（地域経済） | 大橋忠宏 | 10/ 5（土）8：30～15：50 | 9/27（金） |
| | | 細矢浩志 | 10/12（土）8：30～15：50 | |
| 金目哲郎 | | 11/ 2（土）10：20～15：50 | | |
| 兎山正史 | | 11/ 9（土）10：20～17：30 | | |
| | 具体的に哲学すること（倫理学） | 横地徳広 原克昭 | 10/12（土）10：00～17：50 | 9/27（金） |
| | | | 10/13（日）10：00～17：50 | |
| | | | 10/19（土）10：00～17：50 | |
| | | | 10/20（日）10：00～17：50 | |

- ・会場
弘前大学青森サテライト教室（〒030-0813青森市松原2-1-3 地域戦略研究所 北日本新エネルギー研究部門内／棟方志功記念館の隣）
- ・申込方法
問い合わせ先に連絡してください。受講申込書などをお送りします。
- ・青森教室のシラバス及び弘前教室の詳細は、人文社会科学部ホームページ（市民カレッジ）をご覧ください。
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/daigakuin/sidenav/acomorisatellite.html>
- ・問い合わせ先
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

**平成31年度弘前大学大学院
人文社会科学部研究科市民カレッジ
受講生募集のお知らせ**

弘前大学大学院人文社会科学部研究科は、地域社会の課題や国際社会の変化に対応できる高度専門職業人の養成を目指しています。社会人のみなさん、人文社会科学部研究科で市民カレッジで学び直し「学び直し」を始めませんか？

【市民カレッジの特色】
 ○青森市内と弘前市内で大学院の授業科目を受講することができます。
 ○オンデマンドプログラムも選択することができます。
 学位の取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする課程です。
 ※受講料の免除は、大学院入学後、正課の単位に限り適用することができます。
 ○大学院の基礎的科目（共通科目・導入科目・特別講義）を受講できます。
 ○4年制大学を卒業した方であれば、どなたでも受講できます。
 ○受講料は、1科目目、5000円です。（入学金・検定料は必要ありません）。

【青森教室の開講科目】
 青森市内で、土曜日・日曜日を中心に集中講義の形で開講します。平成31年度は、以下の授業科目を開講します。
 ・「青森地域企業の経営戦略」（地域企業）
 ・「歴史から見た東奥地域」（岩手地域学）
 ・「地域の経済と政策について考える」（地域経済）
 ・「具体的に哲学すること」（倫理学）

【弘前教室の開講科目】
 弘前大学青森キャンパスで、通常の大学院の授業科目を正課の大学院生と一緒に受講していただく形になります。
 ※通科科目・導入科目・特別講義から受講できます。
 担当教員と相談の上、夜間や土曜日も授業を受けることができます。

※開講日程、会場、開講科目の詳細は、ホームページ「弘前大学大学院人文社会科学部研究科」<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/daigakuin/index.html>をご覧ください。

【申し込み締切日】
 各科目の締切日は要項をご覧ください。

【申し込み先・問い合わせ先】
 弘前大学人文社会科学部教務担当
 TEL: 0172-39-3941 FAX: 0172-32-5340 Mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

理工学研究科准教授 金 正道 著「ファジィ集合最適化」(B5判, 408頁, 定価3,240円:税込)を出版しました。

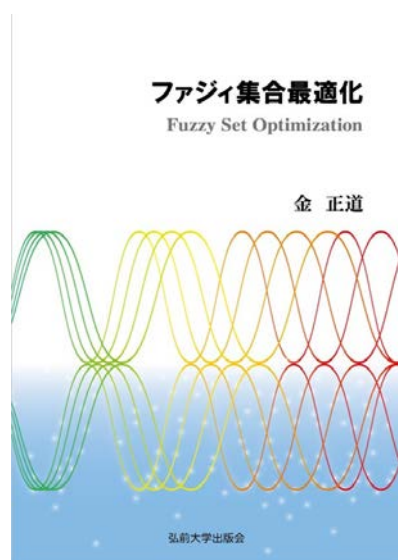
～紹介文～

ファジィ理論は、人間の判断などの曖昧性を適切かつ厳密に表現し解析する分野である。

本書は、ファジィ集合値写像を目的関数としてもつ数理計画問題を初めて扱った数学の専門書である。前半は、高校数学程度を前提として、集合論からファジィ理論まで非常に丁寧に解説されている。後半は、理論面でも応用面でも今後発展が大きく期待されるファジィ集合値解析およびファジィ集合最適化について初の解説が試みられている。

数理系分野に興味がある学部生から、数理系分野を専門としている大学院生・研究者まで幅広く推薦したい著書である。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。



学生特別支援室相談会開催のお知らせ

学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

昨年に引き続き、障害等のある学生(疑いを含む)への支援について教職員と話し合う、または、相談し合うための機会として、2019年度前期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生(疑いを含む)への支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。

開催日： 2019年度前期(8月を除く)
6月20日(木)、7月18日(木)、9月19日(木)

時 間： 14:30 ~ 15:30 (時間内の出入りは自由です。)

会 場： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加方法： 事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

参加スタッフ： 室長、コーディネーター、カウンセラー、支援室員等

問い合わせ先： 教育推進機構学生特別支援室
内 線：3266
E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

については、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見！国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第52号」

<https://www.janu.jp/report/koho/52gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029